

ネオピタ # マンテン JIS A5548 試験データ

【目的】

タイル用接着剤ネオピタマンテンをJIS A5548に準拠した試験にて評価する。

【試験方法】

1. 接着強さ試験

1) 試験用材料

1)下地材	JIS A5548に規定されるモルタル
2)接着剤	ネオピタマンテン (グレー)
3)タイル	JIS A5548に規定されるモルタル
4)こて	JIS A5548に規定される標準くし目こて

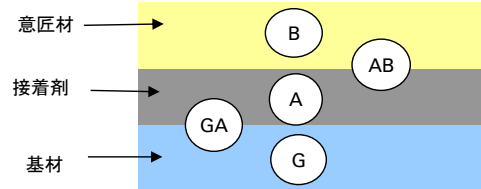
2) 試料の作成

1)接着剤の塗布	JIS A 5548の6.3.3 b) 2)による
2)タイルの張り付け	JIS A 5548の6.3.3 b) 3)による
3)試料の養生	3.1)標準養生 温度23±2°C、湿度50±20%雰囲気中168時間 3.2)低温硬化養生 温度5±2°C雰囲気中672時間
4)試料の処理	4.1)温水浸漬処理 標準養生後50±2°C飽和水酸化カルシウム中24時間浸漬処理 4.2)熱劣化処理 標準養生後60±2°C中672時間静置処理 4.3)アルカリ水中浸漬 標準養生後23°C飽和水酸化カルシウム-水溶液48時間浸漬

3) 評価方法

養生、処理した試験片の最大引張強さを測定し、試験片の破壊位置を目視観察する。
破壊位置の表示方法は下記の通りとし、割合を%表示する。

B	: タイルの材料破壊
AB	: 接着剤層～タイル界面
A	: 接着剤層凝集
GA	: 基材～接着剤層界面
G	: 基材 (下地) 破壊



試験項目	判定基準
標準養生	0.6N/mm ² 以上
低温硬化養生	0.3N/mm ² 以上
温水浸漬処理	0.3N/mm ² 以上
熱劣化処理	0.3N/mm ² 以上
アルカリ水中浸漬処理	0.3N/mm ² 以上

2. 耐熱性試験

JIS A5548 6.3.4 耐熱性試験方法による。

3. ずれ抵抗性試験

JIS A5548 6.3.5 ずれ抵抗性試験方法による。

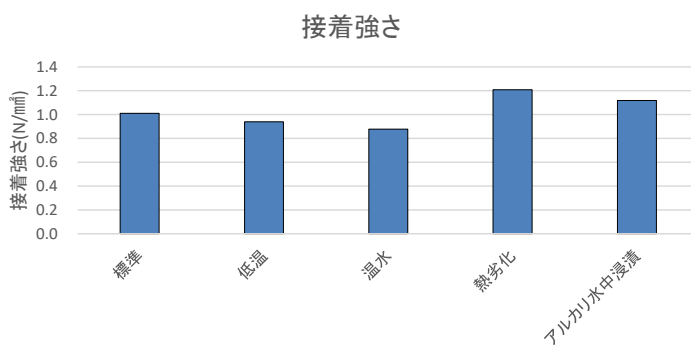
4. 可使時間及び張付け可能時間

JIS A5548 6.3.6 可使時間及び張付け可能時間による。

【試験結果】

1. 接着強さ試験結果

接着剤			最大応力 (N/m ²)	破壊状態 (%)				
				B	AB	A	GA	G
ネオピタ マンテン	標準養生	n=1	1.07			95	5	
		n=2	0.90		5	95		
		n=3	0.96			100		
		n=4	1.00		5	90	5	
		n=5	1.13			100		
		平均	1.01	0	2	96	2	0
	低温硬化 養生	n=1	1.15			95	5	
		n=2	0.95		5	95		
		n=3	0.92		5	95		
		n=4	0.82			100		
		n=5	0.85			90	10	
		平均	0.94	0	2	95	3	0
	温水浸漬	n=1	0.92			90	10	
		n=2	0.81		5	95		
		n=3	0.90			95	5	
		n=4	0.88		5	95		
		n=5	0.88		5	95		
		平均	0.88	0	3	94	3	0
	熱劣化	n=1	1.20			100		
		n=2	1.29		5	95		
		n=3	1.22		10	90		
		n=4	1.13			100		
		n=5	1.20			100		
		平均	1.21	0	3	97	0	0
	アルカリ水 中 浸漬	n=1	1.10			100		
n=2		1.15			90	10		
n=3		1.16			100			
n=4		1.15		5	95			
n=5		1.03			100			
平均		1.12	0	1	97	2	0	



接着強さに関しまして、JIS A5548基準を満たすものと考えられます。

2. 耐熱性試験

60°C、24時間4.5kgのおもりで安定している。

3. ずれ抵抗性試験

100mm角セラミックタイルのズレは発生しない。

4. 可使時間及び張付け可能時間

夏場条件 (30°C70%RH) にて0.6N/m²を発現する最長時間=30分

冬場条件 (5°C) にて0.6N/m²を発現する最長時間=60分

本資料に記載されているデータ・内容は当社試験・調査によるもので、充分信頼しうるものと考えておりますが、御社において使用された結果を保証するものではありません。使用目的、被着材状態、使用条件により相違する場合がありますので、予め御社にてご確認の上御使用下さいませようお願い申し上げます。
